

～VIO脱毛シェービングの仕方～

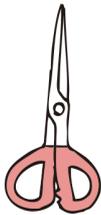


準備するもの

蒸したタオル



はさみ



シェーバー



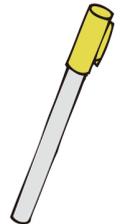
手鏡



保湿クリーム



印用水性ペン



Point!

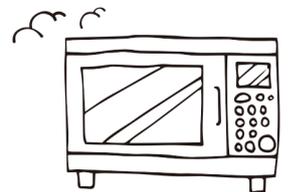
シェービング前のひと手間が重要！

むだ毛を剃る前に、肌と毛を温めましょう。

温めることで肌と毛を柔らかくすることができます。

柔らかくすることでシェービングの時に毛が引っかかることもなく、スムーズに処理ができます。

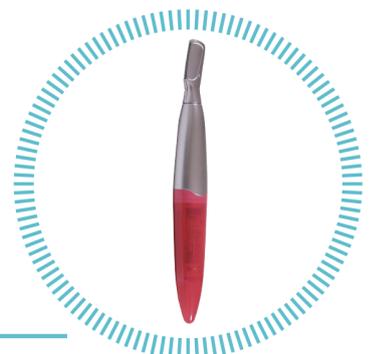
- ①お湯でタオルを濡らし、絞ったタオルを電子レンジで約 40 秒温める。
- ②温めたタオルは、熱すぎない温度に調節する。
- ③デリケートゾーンに、タオルが冷めるまで当てる。



粘膜に近いIライン・Oラインはデリケートゾーン専用のクリームを使用すると処理しやすいよ！
(もちろん低刺激タイプのクリームやワセリンでもOK★)

オススメ! /

お肌の負担をより最小限に抑えてくれる、電気シェーバーがオススメ！
または、滑りがよくなるジェルが付いているカミソリを使用するのもGOOD!

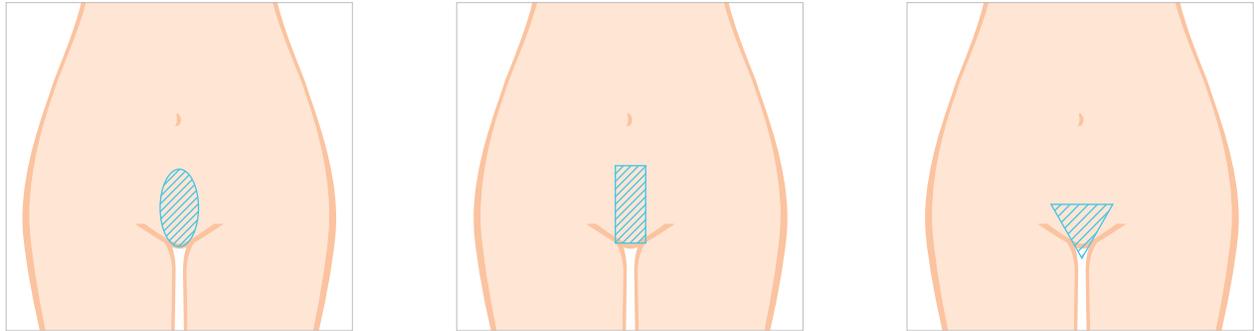


～VIO部位別処理方法～

Vライン

Step.01

やりたい形や剃りたい範囲があれば、形がわかるように水性ペンで印をつけましょう。



Step.02

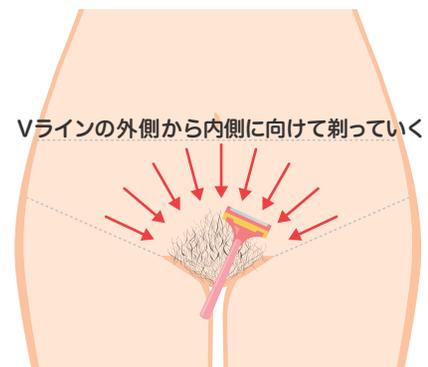
毛を残さない部位は、ハサミやトリマーで1 cm以下に短くカットします。

※ハサミを使う場合は、肌に刃先が当たるとケガをしてしまう危険性があるので注意しましょう。

※VIOのムダ毛は、毛流れにそって上から下に剃りましょう。

Step.03

毛流れに逆らって剃ると毛穴周辺の皮膚を傷つけてしまうため、剃るときは皮膚をおさえて引っ張りながら電気シェーバー（シェービングフォームを使用したカミソリ等も可）で剃りましょう。



Vラインの外側から内側に向けて剃っていく

シェービングNG例



あきらかに毛が残っている状態や、剃り残しがある場合はNG!!



シェービングOK例



目で見てブツブツしている程度、**脱毛する部分を1mm以下の長さ**に事前処理をしよう!



Point!

- ・全範囲、毛が1mm以下になるように整えましょう。
- ・皮膚を引っ張り、たるみや凹凸がない状態にすることで毛の根元から剃ることができる。

Iライン

Vラインよりも粘膜に近く、トラブルのリスクも高いので十分に注意して自己処理をしましょう！

Step.01

見えにくいいため鏡を使いながら自己処理をしていきましょう。

※下に鏡を置き、その上にまたがるような体勢になるとIラインの後ろまで見ることができます。

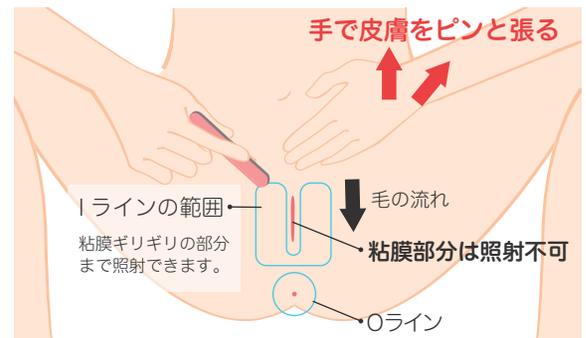
※自己処理をする前に、目と手触りでムダ毛の位置を確認しましょう。

※シェーバーを肌に強く当て過ぎないようにしましょう。

Step.03

開脚し、電気シェーバー(カミソリ)を持っていない手で、皮膚を外側に引っ張りながら慎重に剃りましょう。

※粘着力を少し取ったガムテープなどで肌についている毛を取りながら確認すると、残っている毛を鏡で確認することが出来ます。



Oライン

Step.01

肉眼ではみることができないので、処理するときは、Iラインと同じように鏡を下に置きます。鏡の上にまたがり、Oラインが見えやすいようにします。

Step.02

手前に引くように肌に当てシェービングします。鏡で確認しながら、繰り返します。

尾骨付近も産毛が残りやすいので肌にシェーバー(カミソリ)を当てゆっくり動かし剃ります。

※肛門に近いほど肌がデリケートなので、手と目でしっかりと、どのあたりに、どのくらいの毛が生えているのかを確認しながら自己処理をしましょう。

※鏡を使っても見えないところは、手の感覚を頼りに慎重に処理してください。

Oライン脱毛する際のオススメ体勢

またがるポーズ



赤ちゃんのポーズ



横向きポーズ

